

5/21 朝日

相次ぐ値上げ 消費者辛抱

原材料費の高騰が直撃している。愛知県「常滑市」のカフェ「イーグル」では、コーヒーとトースト、ゆで卵、ナッシュ、ヨーグルトが付いて430円で提供。パンやコーンドッグの仕入れ値は1割ほど上がったが、食パンを10枚切りから11枚切りに変え、5月からはナッシュをなくし、何とか価格は据え置いている。オーナーの鈴木尚宏さん(78)は「常連さんが楽しみにしてくれている。辛抱かるつむづか」。

(西野和也、高橋亮)

■主な商品の値上げと時期
 出荷価格や参考価格など
 ・ローソン からあげクン 税込み216円→238円(5月)
 ・天丼てんや 天丼 税込み500円→530円(6月)
 ・ロイヤルホスト ドリンクバー 税込み506円→528円(6月、7月)
 ・明治 エッセルスーパーカップ各種 税込み151円→162円(6月)
 ・日清食品 カップヌードル 税込み208円→231円(6月)
 ・キユーピー マヨネーズ(450g) 税抜き372円→403円(3月)
 ・日清製粉ウェルナ 小麦粉フラワー(1kg) 税抜き274円→305円(1月、7月)
 (取材から)

タマネギ、小麦、マヨネーズ…。値上がりが止まらない。20日に4月の消費者物価指数が発表され、電気代や食料品などの価格は軒並み上昇した。消費者の受け止めは、

▼1面参照 東京都練馬区のスーパー「アキタヤ」。20日午前、タマネギの前で足を止めていた練馬区のパート吉澤美保さん(48)は「やっぱり高い。ハンバーグに入れると

きは量を減らして」「シシシキノロを入れて工夫しています」と話す。同区の主婦鈴木洋子さん(56)は「クラウド危機の影響で小麦の値段が上がる」と聞いてシリアルを多めに買って儲けている。「少し遠くても安いスーパーに通うようになっている。早くウクライナが平和になつて、値上がりも落ち着いてほしい」と話した。同社社長の秋葉

弘道さん(63)は「値上げの品目があまりにも多く、幅も大きい」と話す。全てを価格に転嫁できないため、売り上げが伸びても収益率は

下がつてしまふのです。コーンドッグを注文するどん、トーストなどの朝食がついでくる」と、地元の東海地方の「モーニング」とも

値上げに次ぐ値上げを繰り返り抜けられないので、節約術と詳しく述べる。シャルブランナー(EP)の杉浦翠絵さん(32)は「物価が高止まりする可能性もあり、暮らし方を変える必要が出でてくるかもれない」と指摘する。

現在、タマネギやジャガイモの価格が高く、気軽にカレーを作れない。たとえばナスを炒めたものにカレーパウダー、匂で安い材料をおいしく調理するといろんな考え方をするのがねがうめどう。

家計ではまず「使途不明金」の見直しが必要と杉浦さんは指摘する。お金の使い道を把握し、決めた予算内でやりくりするのが節約の基本という。(西野和也)

節約するには……

「使途不明金」見直しを

小麥粉や食用油など輸入に頼る部分がある商品は、国際情勢が絡んでくるため、先が見通せない。ガソリンや電気・ガス代も安くなりそうだ。

家計ではまず「使途不明金」の見直しが必要と杉浦さんは指摘する。お金の使い道を把握し、決めた予算内でやりくりするのが節約の基本という。(西野和也)